ウェブ版はこちら。最新のデータとレーティングはウェブ版が優先されます
alphascope.cc/ja/reports/us-weekly-2026-w39

米国株週報 · 2026年第39週（9/21〜9/25）

ナスダック100は3.3%上昇、均等加重S&P500は0.2%下落
上昇は大型テック株に集中、債券・クレジット市場は軟調

今週の上昇は一部の大型株に集中した。Meta は週間13%高、半導体は5.9%高となった一方、均等加重の S&P500 は0.2%安、ラッセル2000は0.8%安であった。同期間に米10年債利回りは一時5.22%と2007年以来の高水準に達し、ハイイールド債スプレッドは25ベーシスポイント拡大した。株式市場は AI 関連の業績拡大を織り込み、債券・クレジット市場は追加利上げを織り込みつつある。

S&P500	ナスダック100	ラッセル2000	米10年債	VIX 指数
+1.2%	+3.3%	-0.8%	5.17%	14.87
終値 7,743.41	終値 30,608.13	終値 2,837.55	+16bp	週間 +0.06

WTI 原油
-7.9%
終値 92.41

01

今週の要点

米10年債利回りは5.2%に接近、上昇の主因は実質金利

米10年債利回りは今週16ベーシスポイント上昇して5.17%で取引を終え、木曜には一時5.22%と2007年6月以来の高水準をつけた。30年債利回りは一時5.50%と2004年以来の水準に達し、住宅ローン金利は7%を上回った。

内訳を見ると、16ベーシスポイントのうち15は実質金利（10年物 TIPS は2.83%）によるもので、期待インフレ率の上昇は1ベーシスポイントにとどまった。**市場が織り込んでいるのはインフレ加速ではなく、資金調達コストの上昇である。**FRB は9月16日、3年あまりぶりの利上げで政策金利を3.75〜4.00%とし、ドットチャートは年内あと1回の利上げを示唆している。今週はバー理事が追加利上げの必要性に言及し、市場が織り込む10月利上げの確率は75%を超えた。

指数は上昇、市場の裾野は縮小

ナスダック総合指数は火曜に史上最高値を更新し、ナスダック100は週間3.3%上昇した。上昇を主導したのは Meta である。AI アシスタント「Muse」が米国 App Store で首位となり、ウェルズ・ファーゴが目標株価を640ドルから796ドルに引き上げ、株価は月曜に11%、週間で13%上昇した。半導体 ETF（SMH）も5.9%上昇した。

一方、市場の裾野は狭く、11セクターのうち6セクターが下落し、均等加重の S&P500 は0.2%安、小型株のラッセル2000は0.8%安であった。**指数の上昇は一部の大型株によるもので、大半の銘柄は上昇していない。**

WTI 原油は週間7.9%下落、ブレントとの値動きが乖離

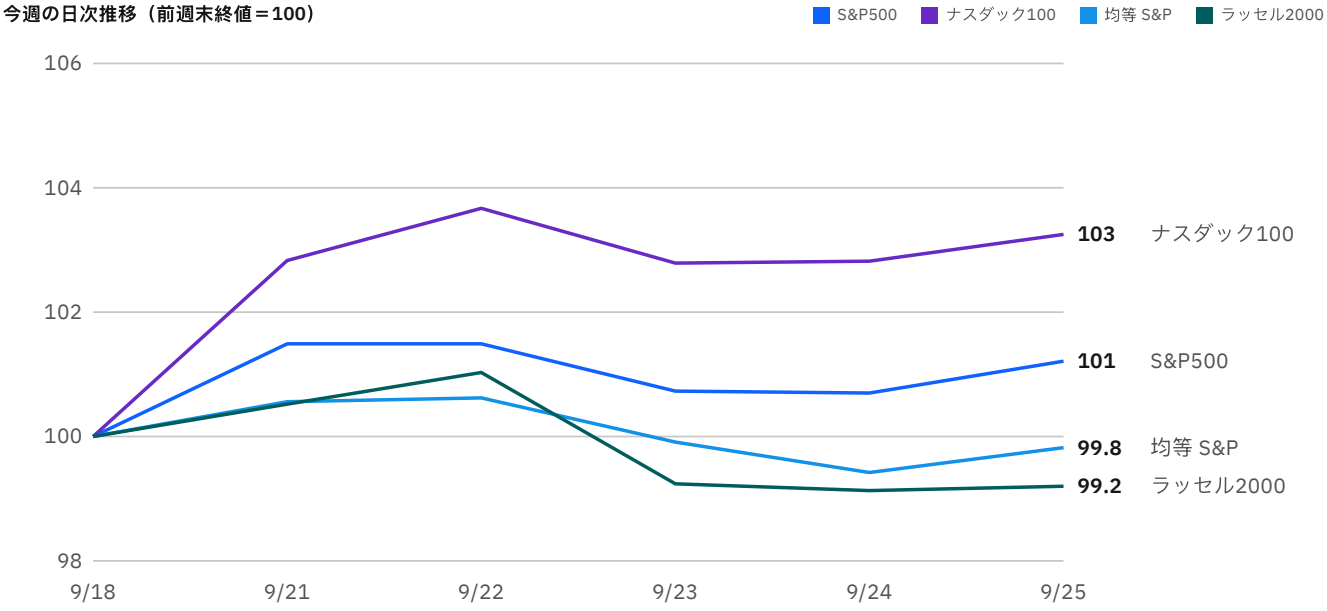
WTI 原油は金曜に92.41ドルで取引を終え、週間7.9%安と8月末以来初の週間下落となった。主な要因は、米イラン停戦への期待と、OPEC（4回連続）および IEA による2026年需要見通しの再下方修正である。一方、ブレント原油は今週0.4%上昇し、100ドルを維持した。中東の供給リスクが国際指標を下支えし、停戦期待は主に米国の指標原油を押し下げた。エネルギー株は3.0%下落した。

> 株式市場は AI による業績拡大を、債券市場は追加利上げを織り込んでおり、両市場の見通しには隔たりが残る。

02

市場動向

今週の日次推移（前週末終値＝100）



11セクターの週間騰落（SPDR セクター ETF）

情報技術 +3.6% 年初来 +36.8%	コミュニケーション +2.3% 年初来 -3.2%	ヘルスケア +1.8% 年初来 +11.6%	資本財 +0.7% 年初来 +10.7%	素材 +0.1% 年初来 +11.2%	一般消費財 -0.2% 年初来 -6.8%
生活必需品 -0.2% 年初来 +7.7%	不動産 -1.5% 年初来 +5.5%	金融 -1.5% 年初来 +1.4%	エネルギー -3.0% 年初来 +41.5%	公益事業 -3.2% 年初来 -5.5%	

スタイル・テーマ別騰落

半導体	モメンタム	グロース（ラッセル1000グロース）	クオリティ	ソフトウェア	バリュー（ラッセル1000バリュー）
+5.9%	+2.9%	+2.4%	+2.0%	+1.6%	+0.1%
年初来 +68.4%	年初来 +27.8%	年初来 +7.0%	年初来 +13.3%	年初来 +0.3%	年初来 +21.0%

低ボラティリティ
-0.1%
年初来 +5.5%

大型テック株	週間	1カ月	年初来	終値
メタ	+13.0%	+30.6%	+14.2%	$751.66
マイクロソフト	+4.5%	+4.0%	+7.4%	$516.17
テスラ	+2.2%	+7.6%	-17.3%	$372.11
アップル	+1.5%	+8.8%	+25.8%	$341.07
エヌビディア	+1.3%	+7.5%	+21.0%	$225.07
ブロードコム	-1.2%	-0.6%	+2.5%	$352.81
アマゾン	-1.6%	-4.1%	+8.2%	$249.67
アルファベット	-1.6%	+0.6%	+10.1%	$343.92

最も強いセクターと最も弱いセクターの差は7ポイント近くに達した。情報技術は3.6%高、公益事業は3.2%安である。金利敏感セクター（公益事業、不動産、金融）はそろって下落し、利回りが5%を超えるなかで債券代替資産としての魅力が低下した。スタイル別ではグロースが2.4%高、バリューは0.1%高にとどまり、モメンタムは2.9%高、低ボラティリティは小幅安であった。大型テック株の中でも明暗が分かれ、Meta は13%高、マイクロソフトは4.5%高となった一方、アルファベットとアマゾンはそれぞれ約1.6%安であった。

03

金利・クレジット市場

指標	週末値	週間変化	年初来
米2年債	4.81%	+5bp	+134bp
米10年債	5.17%	+16bp	+99bp
米30年債	5.49%	+15bp	+65bp
10年-2年スプレッド	0.36%	+11bp	-35bp
10年実質金利（TIPS）	2.83%	+15bp	+90bp
10年ブレークイーブン・インフレ率	2.34%	+1bp	+9bp
ハイイールド債スプレッド	2.93%	+25bp	+12bp
投資適格債スプレッド	0.81%	+4bp	+2bp
FF 実効金利	3.88%	+0bp	+24bp

出典：FRED（セントルイス連銀）、今週データのある最終取引日。スプレッドはオプション調整後（ICE BofA）。

VIX 指数	MOVE 米国債ボラティリティ	ドル指数
14.87	96.00	100.97
週間 +0.06	週間 +15.36	週間 +0.75

イールドカーブはスティープ化した。2年債利回りの上昇は5ベーシスポイントにとどまった一方、10年債は16ベーシスポイント上昇し、10年-2年スプレッドは0.36ポイントに拡

大した。長期ゾーンの上昇幅が大きいことは、政策金利見通しに加え、タームプレミアムと財政赤字が利回りを押し上げていることを示している。
このほか2つの乖離がみられた。**債券ボラティリティ指数（MOVE）は1週間で15ポイント上昇して96となった一方、株式の VIX は14.9とほぼ横ばいであった。**また、S&P500 が上昇するなかでハイイールド債スプレッドは25ベーシスポイント拡大して2.93%となった。クレジット市場は通常、株式市場に先行して資金調達環境の引き締まりを反映する。

04

クロスアセット動向

資産	直近	週間	年初来
天然ガス	3.20	+9.8%	-13.3%
ビットコイン	84,034.92	+3.6%	-4.0%
日経平均	66,364.20	+2.1%	+31.8%
イーサリアム	2,690.48	+1.8%	-9.3%
ドル/円	158.81	+1.7%	+1.5%
銅	6.70	+1.2%	+18.9%
ユーロ・ストックス50	6,302.82	+1.1%	+8.7%
ブレント原油	104.32	+0.4%	+71.4%
ドル/人民元	6.71	+0.1%	-4.1%
上海総合	3,888.37	-0.6%	-2.0%
ユーロ/ドル	1.14	-0.9%	-3.2%
ハンセン指数	24,510.09	-1.0%	-4.4%
金	4,321.20	-2.3%	-0.5%
銀	64.25	-3.5%	-8.4%
WTI 原油	92.41	-7.9%	+60.9%

為替は表示通貨ペアの騰落率で、ドル/円の上昇はドル高を示す。原油・天然ガスは期近先物。

実質金利の上昇が貴金属の重荷となり、金は2.3%安、銀は3.5%安となった。天然ガスは9.8%高。ドル指数は0.75上昇して101.0、ドル/円は1.7%上昇し、円安が日経平均の2.1%高を支えた。ハンセン指数は1.0%安、上海総合指数は0.6%安。ビットコインはハイテク株と連動して3.6%上昇した。

05

カバレッジ銘柄

ティッカー	当社レーティング	週間	対 S&P	年初来
MSFT	中立	+4.5%	+3.3%	+7.4%
MCD	買い	-4.7%	-5.9%	-21.1%
KO	買い	-0.5%	-1.7%	+28.0%

マイクロソフトは今週4.5%上昇し、S&P500 を3.3ポイント上回った。当社レーティングは中立であり、PER 26倍の水準で好材料はおおむね織り込まれているとみている。マクドナルドは4.7%下落した。9月23日の投資家説明会で2036年までに約85億ドルの加盟店支援を発表し、当日の株価は5.6%下落した。当社はこの下落後に買いと判断した。コ

カ・コーラは0.5%下落した。注：表のレーティングは9月30日に確定した現行のものである。詳細はマイクロソフト、マクドナルド、コカ・コーラの各レポートを参照。

06

来週の注目材料

日付	イベント	注目点
9/30	マイクロン決算（引け後）	半導体株は今週5.9%上昇。AI 向けメモリー需要が実際の受注に表れているかが焦点
9/30	8月 PCE 物価指数	FRB が最も重視するインフレ指標。前月のコア PCE は前年比3.3%。上振れすれば10月利上げの可能性が一段と高ま
10/1	9月 ISM 製造業景況指数	前月54.6、価格指数71.1。価格指数が低下しなければ、川上のインフレ圧力が根強いことを示す
10/1	ナイキ決算（引け後）	消費者の節約志向を測る指標。米国の需要と在庫動向に注目
10/2	9月雇用統計	前月は16.2万人増、失業率4.1%。雇用の底堅さと5%近辺の米10年債利回りは、追加利上げを支持する材料となる

決算	日付	時間帯	EPS 予想
Carnival Corporation Ltd. (CCL)	9/29	–	1.35
Micron Technology, Inc. (MU)	9/30	引け後	31.82
NIKE, Inc. (NKE)	10/1	引け後	0.44

時価総額300億ドル超の企業。yfinance の決算カレンダーより。日程は会社発表が優先。

07

データの定義と出典

週間騰落率 = 今週最終取引日の終値 ÷ 前週最終取引日の終値 − 1（2026-09-21～2026-09-25）。指数と ETF は調整後終値。

株価・為替・商品・暗号資産・カレンダーは Yahoo!ファイナンス（遅延あり）。米国債利回り、実質金利、期待インフレ率、信用スプレッド、FF 金利は FRED。

セクターは SPDR セクター ETF、スタイルは iShares ラッセル1000 グロース/バリュー、MTUM、QUAL、USMV、テーマは SMH（半導体）とIGV（ソフトウェア）。

今週の引用資料

指数の週間騰落とナスダックの最高値：TheStreet（9/25）

Meta と Muse：TipRanks（9/21）、Yahoo Finance

米国債利回りと利上げ観測：Semafor（9/24）、CNBC（9/24）

9月の FOMC：Charles Schwab、Seeking Alpha

原油：EnergyNow、OilPrice.com

本週報は公開市場データに基づくリサーチ資料であり、一般の読者を対象としている。個人の財務状況を考慮したものではなく、投資助言を構成するものではない。データには遅延があり、原資料の数値が優先される。

データ時点 2026-09-25 · 雅虎财经（行情、汇率、商品、日历）；FRED（美债收益率、信用利差、政策利率）

財務データは SEC EDGAR の原資料から。株価データには遅延があり、出典は各レポートに明記しています。

レーティングはすべての読者に向けたリサーチ上の見解であり、個人への売買の推奨ではありません。投資にはリスクがあります。最終判断はご自身で。